

SmartMask AI

選択範囲の作成を簡単にします



CONTENTS

- アプリケーションの用途
- Windowsでのインストール
- MacでのインストールLinuxでのインストール
- プログラムの登録
- 操作方法
 - ワークスペース
 - 操作方法
 - マスク表示モード
 - カスタム背景
 - ヒストリーパレット
 - AKVIS ファイル
 - 環境設定
 - ホットキー
 - 印刷
 - AIベースの選択ツール
 - クイック選択ツール
 - 標準選択ツール
 - マジックブラシ
 - クロマキー
 - エッジの調整

 - 後処理ツール
 - その他のツール
- 操作例
 - 写真の背景を置き換える方法
- AKVISプログラム

AKVIS SMARTMASK AI 14.0 | 選択作業を簡単に

AKVIS SmartMask AI は、時間を節約でき、楽しく使える効果的な被写体選択ツールです。人工知能ツールを搭載したこのプログラムは、画像内の被写体を選択してマスキングする最も便利で高速な方法です。これほど選択が簡単にできたことはないと感じることでしょう!

画像内の特定の領域をターゲットとして指定する必要がある場面は多々あるでしょう。効果や修正を適用する単純な領域を数多く指定(ハイライト)する必要があります。フォトコラージュやフォトモンタージュの作成には、オブジェクトを正確に選択する必要があります。しかし、境界が明確ではなく、背景に紛れてしまうオブジェクトがほとんどで、選択作業は骨の折れる作業です。試しに、集合写真でご自分を選択してみてください。

AKVIS SmartMask AI では、複雑な選択も非常に簡単になります。これで、オブジェクトの選択作業にかかる時間が短縮され、よりクリエイティブな部分に多くの時間を使うことができます。



複雑なオブジェクトの抽出も楽々!

画像内のオブジェクトのマスキングや背景の除去を行うための強力なツールを提供します。フラグメントのエッジが鮮明であれぼかしたものであれ、問題なく動作します。鮮明に描かれた被写体や、ぼやけた半透明のエッジを持つ被写体を瞬時に選択することができます。

あなたが必要なのは少しの作業だけで、SmartMask AIが画像処理を行い、不要な部分を取り除き、選択した被写体を残してくれます。このプログラムでは、切り取った被写体に残っている、以前の背景の不要な色合いを取り除くこともできます。



素晴らしいツール

このソフトウェアには、被写体を選択し、必要に応じて結果をタッチアップするためのスマートで便利なブラシのセットが含まれています。

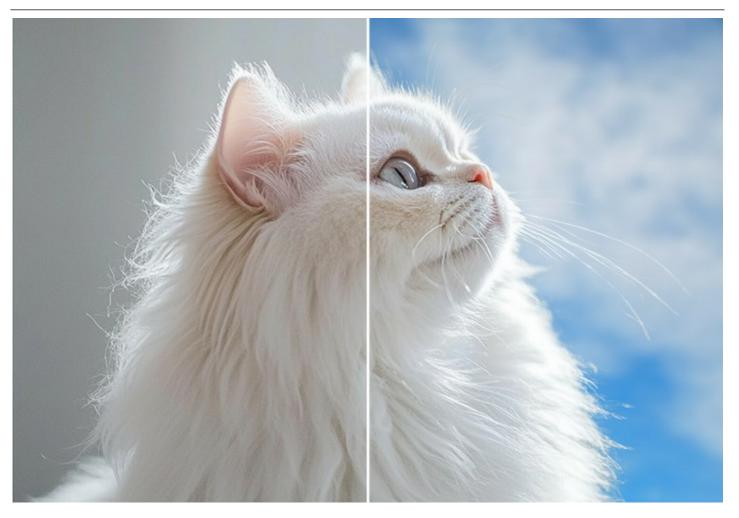
AIによる写体の選択ツール、もしくはクイック選択ツールを使えば、プロ並みの仕上がりになることでしょう。

選択した被写体が背景と似た色範囲の場合や、オブジェクトのエッジが不規則な場合、マジックブラシや背景用消しゴムなどの加工ブラシを使用することができます。

さらに、クロマキー技術を使用して、画像から背景色を自動的に削除することもできます。

切り取った被写体のエッジ部分は、エッジの微調整機能を使用して、微調整を行うことができます。

その後、カスタム背景を追加して、切り取った被写体を新しい画像に配置します。- 想像力を自由に発揮できます!



選択にかける時間を減らし、創作により多くの時間を活用できます!

弊社の他の製品同様、SmartMask AI は操作が簡単なだけでなく、楽しくご利用いただけるソフトです。画像処理の退屈になりがちな作業を楽しいものにしてくれます。

選択の作業は、デザイナーの仕事でもかなりの時間をとるものです。しかし、AKVIS SmartMask AI を使えば、生産性を大幅に伸ばすことができます。単調な作業から開放され、アイディアの考案やアイディアを実際に作品に取り入れるための時間が十分に取れます。



保存

ソフトウェアでの作業中、プロジェクトの作業内容を .akvis ファイルに保存することができます。AKVISファイルには、元のイメージ、保存時のイメージの状態、パラメーターや設定に加え、 Deluxe/Business 版では、作業中に手動で追加(作成)した f_{xy} クポイント が含まれます。この便利な機能は、特にプロの写真家から好評です。



AKVIS SmartMask AI は、 スタンドアロン プログラムとして、またフォトエディターの プラグイン としても使用できます。プラグイン版は、AliveColors、Adobe Photoshop、Corel PaintShop Proや他のイメージ エディターと互換性があります。

ライセンスの種類によってプログラムの機能が異なります。この機能は Home Deluxe および Business ライセンスでのみ利用可能です。ライセンスと機能を比較はこちら。

試用期間中にすべてのオプションを試すことができますので、利用環境に最適な種類を選んで購入できます。

WINDOWSでのインストール

AKVIS SmartMask AI を Windows OS 搭載の PC にインストールするには、次の指示に従います。

注意:このプログラムをコンピュータにインストールするには、管理者権利が必要です。

AKVISプログラインをインストールする前に、ご使用のフォトエディタが終了していることを確認してください。インストール中にフォトエディタが開いたままの場合、それを再起動する必要があります。

- 1. セットアップ用の exe ファイルをダブルクリックして起動させます。
- 2. 言語を選択し、[OK]をクリックするとインストール画面が表示されます。
- 3. インストールを続行するには、ライセンス契約書を読み、同意する必要があります。

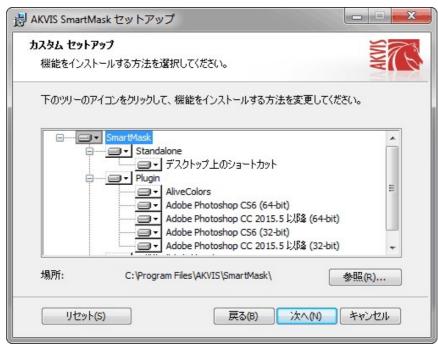
[使用許諾契約の条項に同意します]チェックボックスをオンにして、[次へ]をクリックします。



4. プラグイン版をインストールする場合は、一覧から使用するフォトエディターを選択します。

スタンドアロン版をインストールする場合、[Standalone]が選択されていることを確認ください。 デスクトップにプログラムのショートカットを作成する場合、[デスクトップにショートカットを作成]を選択します。

[次へ]をクリックします。



5. 「インストール】ボタンをクリックします。



6. インストール処理が開始されます。



7. これでインストールは完了です。

AKVIS ニュースレターの購読を申し込むと、アップデート、イベント、割引きキャンペーン等についてのお知らせを受け取ることができます。メールアドレスを入力し、プライバシーポリシーを確認し、同意する必要があります。



8. [終了]をクリックします。

スタンドアロン版をインストールすると、[スタート]メニューにプログラムの新しい項目が追加されます。[デスクトップにショートカットを作成]オプションを選択した場合、デスクトップにショートカットも追加されます。

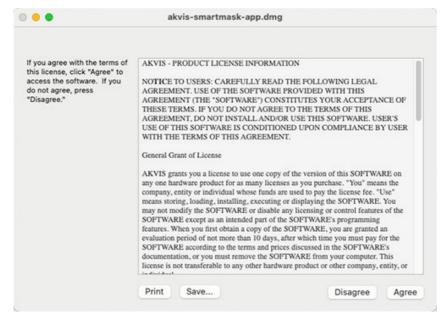
プラグイン版をインストールすると、フォトエディターの[フィルター]または[効果]メニューに新しいアイテムが追加されます。Photoshop の場合、[フィルター] > [AKVIS]> [SmartMask AI]となります。

MACでのインストール

AKVIS SmartMask AI を Mac PC にインストールするには、次の指示に従います。

このプログラムをコンピュータにインストールするには、管理者権利が必要です。

- 1. dmg ファイルを開きます:
 - akvis-smartmask-app.dmg (スタンドアロン版をインストールする場合)
 - akvis-smartmask-plugin.dmg (プラグイン版をフォトエディターにインストールする場合)
- 2. ライセンス使用許諾契約書を読み、同意する場合は、[Agree(同意)] をクリックします。



3. Finder が開き、AKVIS SmartMask AI App または AKVIS SmartMask AI PlugIn フォルダーが表示されます。

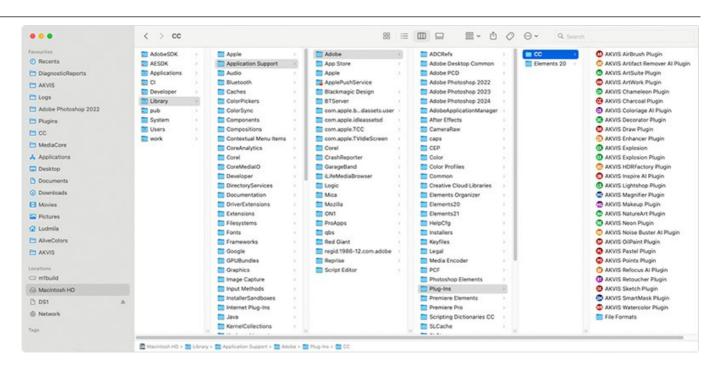


4. スタンドアロン版をインストールするには、AKVIS SmartMask AI アプリケーションを [Applications] フォルダー、または希望の保存先にドラッグします。

プラグイン版をインストールするには、[AKVIS SmartMask AI PlugIn]フォルダーを、グラフィック エディターの[Plug-Ins]フォルダーにドラッグします。

Photoshop CC 2022, CC 2021, CC 2020, CC 2019, CC 2018, CC 2017, CC 2015.5 の場合、Library/Application Support/Adobe/Plug-Ins/CC

Photoshop CC 2015 の場合、Applications/Adobe Photoshop CC 2015/Plug-ins Photoshop CS6 の場合、Applications/Adobe Photoshop CS6/Plug-ins に移動させます。



プラグイン版をインストールすると、フォトエディターの[フィルター]メニューに新しいアイテムが追加されます。Photoshop の場合は、**[フィルター] > [AKVIS] >** [SmartMask AI]が追加されます。

スタンドアロン版は、Finder のアイコンをダブルクリックすることにより実行します。

AKVIS プログラムを実行する別の方法は、[Image]メニューの[Edit With]コマンドから、Photos アプリケーションを選択することです (High Sierra 以降の macOS)。

INSTALLATION ON LINUX

Note: The AKVIS programs are compatible with Linux kernel 5.0+ 64-bit. You can find out the kernel version using the uname -srm command.

Follow the instructions to install the AKVIS software on a Linux computer.

Installation on **Debian**-based systems:

Note: You need apt-install or apt-get permissions required to install software.

- 1. Run the terminal.
- 2. Create a directory to store keys:

sudo mkdir -p /usr/share/keyrings

3. Download the key that signed the repository:

curl -fsSL https://akvis.com/akvis.gpg | sudo tee /usr/share/keyrings/akvis.gpg >/dev/null

or

wget -O - https://akvis.com/akvis.gpg | sudo tee /usr/share/keyrings/akvis.gpg >/dev/null

4. Add the repository to the list where the system looks for packages to install:

echo 'deb [arch-=i386 signed-by=/usr/share/keyrings/akvis.gpg] https://akvis-deb.sfo2.cdn.digitaloceanspaces.com akvis non-free' | sudo tee /etc/apt/sources.list.d/akvis.list

5. Update the list of known packages:

sudo apt-get update

6. Install AKVIS SmartMask AI

sudo apt-get install akvis-smartmask

7. The installation is completed.

Launch the program via the terminal or using the program shortcut.

8. For automatic updates, use the command:

sudo apt-get upgrade

To remove the program:

sudo apt-get remove akvis-smartmask --autoremove

Installation on RPM-based systems (CentOS, RHEL, Fedora):

- 1. Run the terminal.
- 2. Register the key that signed the repository:

sudo rpm --import https://akvis.com/akvis.asc

3. Add the repository to the system:

sudo wget -O /etc/yum.repos.d/akvis.repo https://akvis.com/akvis.repo

4. Update the package list:

when using the dnf package manager:

sudo dnf update

when using the yum package manager:

sudo yum update

5. Install AKVIS SmartMask AI:

when using the dnf package manager:

sudo dnf install akvis-smartmask

when using the yum package manager:

sudo yum install akvis-smartmask

6. The installation is completed.

Launch the program via the terminal or using the program shortcut.

7. For automatic updates:

when using the dnf package manager:

sudo dnf upgrade

when using the **yum** package manager:

sudo yum upgrade

8. To remove the program:

when using the dnf package manager:

sudo dnf remove akvis-smartmask

when using the **yum** package manager:

sudo yum remove akvis-smartmask

Installation on openSUSE.

- 1. Run the terminal.
- 2. Login as a root user.
- 3. Add the key that signed the repository:

rpm --import http://akvis.com/akvis.asc

4. Add the repository to the system:

zypper ar -r https://akvis.com/akvis.repo akvis

5. Update the package list:

zypper ref

6. Install AKVIS SmartMask AI:

zypper install akvis-smartmask

7. The installation is completed.

Launch the program via the terminal or using the program shortcut.

8. For automatic updates:

zypper update

To remove the program:

zypper remove akvis-smartmask

Installation using **Flatpak**:

- 1. Run the terminal.
- 2. Add the Flathub repository

sudo flatpak remote-add --if-not-exists flathub https://flathub.org/repo/flathub.flatpakrepo

3. Add the AKVIS repository

 $sudo\ flat pak\ remote-add\ --if-not-exists\ akvis\ --from\ https://akvis-flat pak.sfo3.cdn.digitalocean spaces.com/com.akvis.flat pak repo$

4. Install AKVIS SmartMask AI:

sudo flatpak install -y akvis com.akvis.akvis-smartmask

5. The installation is completed.

Launch the program using the program shortcut or the terminal:

flatpak run com.akvis.akvis-smartmask

6. To update all installed flatpaks, use the command:

sudo flatpak update -y

to remove the program:

sudo flatpak remove -y com.akvis.akvis-smartmask

In order to display the program interface correctly, it is recommended to install the Compton or Picom composite manager.

AKVIS製品のアクティベーション方法

注意: この方法でアクティベーション処理を行うには、インターネット接続が必要です。

インターネット接続環境がない場合、別の方法でのアクティベーションも提供しています(詳細は「オフライン アクティベーション」を参照)。

AKVIS SmartMask AI をダウンロードし、プログラムをインストールしてください。 インストール方法の詳細はこちら。

アクティベーションを行っていないプログラムを起動すると、スプラッシュウィンドウが表示され、バージョン情報や試用期間の残り日数等を知らせてくれます。

[バージョン情報]ウィンドウは、プログラムのコントロールパネル内の 👔 ボタンをクリックして表示することもできます。



ソフトウェアを試しに使う場合は、[試用]をクリックします。新しいウィンドウが開き、試用可能なライセンスの一覧が表示されます。

ソフトウェアのすべての機能を試用するために、試用版をアクティベートする必要はありません。プログラムを試用期間の10日間、使用するだけです。

試用期間中にすべてのオプションを試すことができますので、利用環境に最適な種類を選んで購入できます。使用するバージョンを選択します。Home(プラグイン/スタンドアロン)、Home Deluxe またはBusinessから選択します。選択するライセンスによってプログラムで利用できる機能が異なります。ライセンスの種類やソフトウェアのバージョンに関する詳細は、比較表を参照してください。

試用期間が終了している場合、[試用] ボタンは選択できません。

[購入]ボタンをクリックして、購入するライセンスを選択してください。

支払いが完了するとすぐに、プログラム用のシリアル番号が送られます。

アクティベーション処理を開始するには、[アクティベート]をクリックします。

AKVIS SmartMa	ask Al パージョン 13.0.2652.26683-o app (64bit)	⊗
	アクティベーション	
お客様名: シリアル番号:	John Smith 1234-5678-9012	
	アクティベーションサーバーへの直接接続電子メールでリクエストを送信	
	ら、 <u>ここからレストア</u> できます。 5生じた場合、 <u>か問合せください</u> 。	8 0
<u>HWID</u> をコピ〜します。	דיי	フティベート キャンセル
	© 2008-2024 AKVIS. All rights reserved	

お客様名を入力します (プログラムはこの名前で登録されます)。

シリアル番号 (アクティベーション キー) を入力します。

アクティベーション方法 (アクティベーション サーバーへの直接接続または電子メール) を指定します。

アクティベーション サーバーへの直接接続:

直接接続を利用して登録を行う方が安全かつ迅速に処理が行えますので、弊社ではその方法を推奨しています。

この方法でアクティベーション処理を行うには、インターネット接続が必要です。

[アクティベート]をクリックします。

これでアクティベーションは完了です!

電子メールでリクエストを送信:

[電子メールでリクエストを送信]を選択した場合、プログラムによって、必要な情報をすべて含んだ新規メールが作成されます。

注意: この方法は、オフライン アクティベーションでも利用できます。

コンピューターがインターネットに接続されていない場合、USB 等を利用して、インターネットに接続されているコンピューターにアクティベーションに関するデータを移動させます。情報の送り先:activate@akvis.com までお送りください。

スクリーンショットを添付しないでください!テキストだけをコピーして、保存してください。

必要な情報は、ソフトウェアのシリアル番号、お客様名、コンピューターのハードウェアID (HWID)です。

この情報を元に、ライセンス ファイル(SmartMask.lic) を作成し、登録されているメールアドレスにお送りします。

この .lic ファイルを開けずに保存します。保存先は、ソフトウェアをアクティベートするコンピューターの [AKVIS]フォルダー ([ユーザー] > [パブリック] > [パブリックのドキュメント]) です。

● Windows の場合:

Users\Public\Documents\AKVIS;

Mac の場合:

Users/Shared/AKVIS

∘ Linux の場合:

/var/lib/AKVIS

これでアクティベーションは完了です!

プログラムがアクティベート済みの場合、[購入]は[アップグレード]に変わり、ライセンスのアップグレードができるようになります。たとえば、Home から Home Deluxe または Business へのアップグレードができます。

ワークスペース

AKVIS SmartMask AI は、スタンドアロン プログラム、また Photoshop 互換のプラグインとしても使用できます。

スタンドアロンは独立したプログラムです。通常通りの方法で起動できます。

プラグイン版は、Photoshop やその他の互換性のあるプログラムの追加モジュールです。プラグイン版を呼び出すには、イメージ エディターのフィルターから [AKVIS SmartMask AI] を選択します。

注意:プラグインを呼び出す前に、別のレイヤーにイメージをコピーしておく必要があります(レイヤーを複製)。または、レイヤーのロックを解除してください。



AKVIS SmartMask AI ワークスペース

プログラムのワークスペースの大部分を占める**イメージ ウィンドウ**は、**[処理前]と[処理後]**の2つのタブで構成されています。すべての処理は**[処理後]**タブ内で実行されます。タブの表示方法の変更は、**画像表示モード**の変更で行えます。

プログラムのウィンドウの上部には、コントロールパネルがあります。

: イメージを開きます(スタンドアロン版のみ)。このコマンドに対するホットキーは、Ctrl + 0キー、Mac の場合は 出 + 0キーを使用します。このボタンを右クリックすると、最近使用したファイルの一覧が表示されます。表示するファイル数をプログラムの[環境設定]で変更することもできます。

: イメージを保存します(スタンドアロン版のみ)。この操作に対するホットキーは、Windows の場合 Ctrl +s キー、Mac の場合は 出 +s キーを使用します。

● : 印刷オプションを開いてイメージを印刷します (スタンドアロン版のみ)。この操作に対するホットキーは、Windows の場合ではエートでは、Mac の場合は出 + アキーを使用します。

★ プロジェクトを保存 します (.akvis 拡張子ファイル)。

★書: 保存したプロジェクト (.akvis ファイル)を読み込みます。

◆ : 各ツールを使って行った最後の操作を取り消します。連続した複数の操作を取り消すことができます。この操作に対するホットキーは、Windows の場合 Ctrl + Z キー、Mac の場合 田 + Z キーを使用します。

・ 最後に取り消した操作をもう一度やり直します。連続した複数の操作をもう一度やり直すことができます。この操作に対するホットキーは、Windows の場合では1+√キー、Mac の場合は3+√キーを使用します。

[主被写体を選択]機能を呼び出します。この機能は、特別に訓練されたニューラルネットワークを使用して、画像内で最も目立つ被写体を正確に選択します。

「「クロマキー」機能を呼び出します。Deluxe と Business ライセンスのみで使用でき、時間をかけることなく、単色のクロマキー背景を除去します。

[エッジの微調整] 機能を呼び出します。Deluxe と Business ライセンスのみで使用でき、時間をかけることなく、選択範囲もしくは切り抜いた被写体のエッジを調整します。

🔼: [カスタム背景] 機能を呼び出します。スタンドアロン版のみで使用でき、切り取ったフラグメントをカスタム背景に挿入できます。

: 作成された選択範囲で実行できるアクションのリスト: [選択領域の削除]、[非選択領域の削除]、[選択領域の反転]、[選択解除] を開きま

🕡 : プラグイン版の場合にのみ、結果を適用し、プラグインのウィンドウを閉じて、選択した被写体をフォト エディターのワークスペースに表示します。

: プログラムに関する情報を含む、バージョン情報ウィンドウを開きます。

: ヘルプファイルを呼び出します。

📩: プログラムのオプション設定を変更するための [環境設定]ダイアログボックスを開きます。

【】: 操作例パネルが開き、ビデオ チュートリアルや操作例などを確認できます。

🚺 : SmartMask AI に関する最新のニュースを別ウィンドウで表示します。

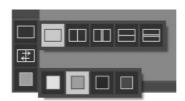
イメージ ウィンドウの左側には、**ツールバー**があります。各ツールのパラメーターは設定パネル(右側)、またはイメージウィンドウ内を右クリックすると表示されるポップアップメニューに表示されます。

[環境設定]で、すべてのツールや操作に対してキーボードショートカットを設定 (「ホットキー」ともいう)することができます。

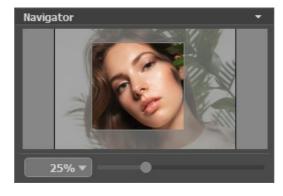
左側パネルの下部でマスクの表示モードを切り替えることができます。



さらに、画像表示モードを表示することもできます。



イメージをナビゲートしたり、拡大/縮小するには **ナビゲーター**を使用します。**ナビゲーター** の赤枠で囲まれた領域は、現在メイン ウィンドウに表示されている領域です。 赤枠の外はグレー表示になります。赤枠をドラッグすると画像の表示領域を変更できます。赤枠を移動させるには、マウスをクリックしたままカーソルをドラッグします。



ナビゲーター をクリックすると、表示/非表示を切り替えられます。

スライダーを使用して、イメージ ウィンドウ内のイメージを拡大/縮小することができます。スライダーを右に動かすと、イメージは拡大されます。スライダーを左に動かすと、イ メージは縮小されます。

イメージ ウィンドウで画像をスクロールするには、キーボードのスペースキーを押しながら画像をドラッグします。マウスのスクロールホイールを使うと、イメージは上下に動き、Ctrl キー (Mac の場合は ギャー) を押しながらの場合は左右に動き、Alt キー (Mac の場合は Option キー) を押しながらの場合は拡大/縮小されます。スクロールバーを右クリックすると、クイックナビゲーション メニューが表示されます。

さらに、拡大/縮小率の欄に値を入力してEnter(Return キー)を押すこともできます。ドロップダウン メニューには、使用頻度の高い値が表示されます。 ズームインやズームアウトに、ホットキー を使用することもできます。

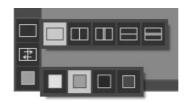
ナビゲーター の下には、指定モードのパラメーターとツール オプションを含む **設定パネル** が表示されます。[デフォルト値] ボタンをクリックするとパラメーターの値が初期設定値に戻ります。

履歴パネル(Home DeluxeとBusiness版でのみ利用可能)には、ファイルに対して行われた変更一覧が表示されています。リスト内のアイテムをクリックすると、その 状態にまで戻すことができます。

設定パネルの下には、カーソルをパラメーターやボタンに合わせた場合に ヒントが表示されます。【環境設定】 ダイアログボックスでは、ヒントの表示位置や表示/ 非表示の設定を行うことができます。

イメージの表示モード

AKVIS SmartMask AI のツールバーの下部には、イメージウィンドウの表示を選択できる3種類のボタンがあり、処理前と処理後タブに分類されます。



- 一番上のボタンは、元の画像と処理後の画像の表示方法に関するサブメニューが表示されます。

 - は、縦もしくは横に分断された**イメージウィンドウ**になります。元のイメージと処理後のイメージが両方とも部分的に表示されます。**[処理 前]**および**[処理後]**の2つのタブが1つのイメージウィンドウを構成します。



この配置によって、[処理前]と[処理後]の縦横比を変えてスプリッターをドラッグすることができます。

も、縦もしくは横に分断された**イメージウィンドウ**になります。しかし、前述のものとは異なり、元のイメージと処理後のイメージの同じ部分が表示されます。



注意:一度に同じ画面で元のイメージと処理結果を比較したい場合には、半分のウィンドウを選択します。処理後のイメージを全体としてみたい場合には、最初に挙げた標準的な**イメージウィンドウ**を選択します。

• は分割ウィンドウで表示している場合において、元のイメージと処理後のイメージの位置を入れ替えます。

• 一番下のボタンは、 イメージウィンドウ の背景色を選択します、	■ 、 ■ のいずれかをクリックすると、背景色が白、グレー、黒に変わります。		
をクリックすると、 [色の選択] ダイアログが表示され、背景色を任意の色に変更できます。			

プログラムの使用方法

AKVIS SmartMask AI は、時間を節約でき、楽しく使える効果的なAIによる被写体選択ツールです。スタンドアロン プログラムとして、またフォトエディターのプラグインとしても使用できます。

AKVIS SmartMask AIを使用して被写体を切り取るには以下の作業を行います。

ステップ 1: イメージを開きます。

スタンドアロン版で作業する場合:

[イメージを開く] ダイアログボックスを表示するには、空のワークスペースをダブルクリックするか、コントロール パネルの a をクリックします。ワークスペースにイメージをドラッグすることもできます。

AKVIS SmartMask AI のスタンドアロン版は、BMP、JPEG、PNG、TIFF、WEBP、TGA、RAW、AKVIS の各ファイル形式をサポートしています。

- プラグイン版で作業する場合:

お使いのフォトエディターでイメージを開くには、[ファイル] > [開く]コマンドを実行するか、ホットキーである Ctrl +0 を使用します。

その後、フォトエディターの[フィルター (または効果)]メニューから AKVIS SmartMask AI プラグインを呼び出します。

AliveColors の場合、[効果] > [AKVIS] > [SmartMask AI]、Adobe Photoshop の場合、[フィルター] > [AKVIS] > [SmartMask AI]]、Corel PaintShop Pro の場合、[効果] > [プラグイン] > [AKVIS] > [SmartMask AI]]、Corel Photo-Paint の場合、[効果] > [AKVIS] > [SmartMask AI]]をそれぞれ選択します。

注意:プラグインを呼び出す前に、別のレイヤーにイメージをコピーしておく必要があります(レイヤーを複製)。または、レイヤーのロックを解除してください。



AKVIS SmartMask AI

ステップ 2: AI ベースの選択ツール、クイック選択ツール、基本選択ツール、マジックブラシツールを使用して、元の画像を処理します。

ステップ 3: 単色のクロマキー背景を除去するには、クロマキー モードを使用します(Home Deluxe & Business ライセンスのみ)。

ステップ 4: エッジの微調整モードは、Deluxe と Business 版でのみ利用可能ですが、選択範囲のエッジや切り取りオブジェクトを簡単に編集することができます。

ステップ 5: 切り取りオブジェクトをカスタム背景に追加する場合は、カスタム背景モードを有効にする必要があります(スタンドアロン版のみ)。

ステップ 6: プロジェクトの保存 を .akvis ファイルで行う場合は、 🕟 をクリックします。読み込みは 🚺 を使用します。

AKVIS ファイルには、元のイメージ、編集途中のイメージ、ツールのパラメーター、色グループ、作成されている場合は チェックポイント (Deluxe/Businessライセンスのみ) が含まれています。

ステップ 7: スタンドアロン版では、印刷を行うこともでき、その場合は、 📥 をクリックします。

ステップ 8: 処理結果を保存します。

スタンドアロン版で作業する場合:

をクリックすると、**[名前をつけて保存]**ダイアログボックスが開きます。ファイル名を入力し、ファイルの種類 (TIFF、BMP、JPEG、WEBP、PNG、TGA、AKVIS) を選択し、保存先フォルダーを選択します。

注意:塗りつぶし背景 オプションを選択した場合、画面に表示されている通り、選択した色の背景上に結果が保存されます。

ヒント:選択オブジェクトを透明な背景に保存する場合、該当するマスク表示モードを選択し、画像保存時に PNG 形式(もしくは透過をサポートする他の形式)を使用してください。

- プラグイン版で作業する場合:

▼ をクリックして結果を適用し、プラグイン ウィンドウを終了します。AKVIS SmartMask AI プラグインが終了し、フォトエディターのワークスペースに画像が表示されます。

[ファイル] > [名前を付けて保存]コマンドを使用して**[名前を付けて保存]**ダイアログボックスを開き、ファイル名の入力、ファイルの種類の選択、保存先フォルダーの指定を行います。



結果

マスクの表示モード

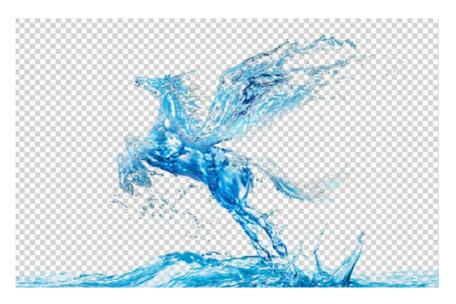
SmartMask AI のツールバーでは、マスクの表示モードを変更して、切り取りオブジェクトを表示する背景を変更できます。

ボタンをクリックすると、様々なオプションを含むサブメニューが表示されます。



透明な背景 🔛

このモードは、透明な背景に処理後のイメージが表示されます。



塗りつぶし背景 📗

このモードでは、選択した背景色上にイメージが表示されます。既定では背景がオレンジ色に設定されていますが、いつでも変更できます。変更するには、ボタンをポイントするとカラーパレット が表示されるので、それをクリックして、色を選択してください。



カスタム背景 🜇

切り取りオブジェクトをカスタム背景に追加する場合は、カスタム背景モードを有効にする必要があります。



注意: 処理結果は、イメージ ウィンドウ画面に表示されている通り、選択した色の背景上に結果が保存/印刷されます。

選択オブジェクトを透明な背景に保存する場合、該当するマスク表示モードを選択し、画像保存時に PNG形式を使用してください。

グレースケール マスク

このモードでは、不透過度が100%のピクセルはすべて黒で表示されます。不透明度が0%のピクセルは白で表示されます。不透明度が0%から100%の間のピクセルはグレーで表示されます。グレーが濃いほど、そのポイントの不透明度は高くなります。

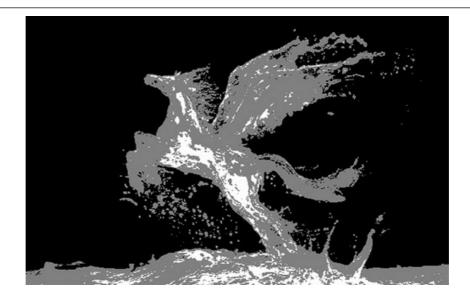


未選択領域を検索

トリマップ方式を使用し、画像を次の3つの領域に分けます。

すべてのピクセルをブラック ポイントとして透過度 =100%で表示します。ホワイト ポイントは、透過度 = 0%のピクセルです。グレーポイントは、その他のピクセル (0% < 透過度 < 100%)です。

このモードは、削除されているように見えて、実際には削除されていない領域を探すときに最適です。



カスタム背景

カスタム背景モード 🔼 は、スタンドアロン版でのみ利用でき、切り取りオブジェクトの背景を変更することができます。



背景を変更

[読み込み]ボタンをクリックすると、新しい背景画像を読み込めます。

[削除]ボタンをクリックすると、背景画像が削除されます。

アップロードされた背景画像は、設定パネルの以下のパラメーターを使用して調整できます。

不透明度 (設定可能範囲は 10-100): この補助パラメーターは、透明度を調整することで、フラグメントをより正確に配置できるようにします。最終結果には影響はありません。

[変形]タブには、背景画像や切り取ったフラグメントのサイズや位置を変更するための設定が含まれています。

フラグメント編集: チェックボックスを有効にすると、切り取ったオブジェクトの移動と変形を行うことができます。

サイズ: 背景画像のサイズ変更は、[幅]と[高さ]フィールドを使用して行います。背景画像のサイズの変更は、画像の枠に表示されている 8つの四角いマーカーをドラッグして行うこともできます。縦横比を維持するにはリンク ☆ をつなげます。リンクのアイコンがつながっていない場合 ☆ は、高さと幅がそれぞれ拡大/縮小されます。

回転角度: 背景画像の回転角度は、A フィールドで設定します。イメージ ウィンドウ内でマウスを動かすことで、イメージを回転させることができます。フレーム 枠の外では、カーソルがカーブした両方向矢印 ↓↓ が表示されます。マウスの左クリックにより、イメージを時計回りまたは反時計回りに回転できます。 Alt キーを押すと、回転角度は 5度刻みに行われます。

をクリックすると、背景画像を反時計回りに90 度回転させます。

オリジナル画像に合わせる : 背景画像は、オリジナル画像にぴったり合うように拡大/縮小されます。

塗りつぶし : 背景画像は、オリジナル画像を完全に覆うように拡大/縮小されます。

左右に反転 : このオプションを使うと、背景が対称軸を中心に反転します(例えば、左右の入れ替え)。

上下に反転:このオプションは、背景の上下を反転させます。

[修正]タブを使用して、背景画像の階調範囲を調整します。

明るさ (設定可能範囲は -100 から 100): イメージ内の色の明るさを変更します。高い値の場合は背景画像が明るくなり、低い値の場合は背景画像が暗 くなります。





明るさ = -50

明るさ = 50 コントラスト (設定可能範囲は -100 から 100): 背景画像の明暗の違いを強めたり (0以上の値)、弱めたり (0以下の値) します。





コントラスト = -50

彩度 (設定可能範囲は -100 から 100): イメージ内の色の強度を設定します。







彩度 = -50

彩度 = 50

ぼかし (設定可能範囲は 0-100): このパラメーターは、背景画像の鮮明度を低下させます。





ぼかし = 5

色温度 (設定可能範囲は -100 から 100): イメージの色温度の上げ下げを行うことができます。0より左に設定すると、冷たい(青い)色調が増え、0より右に設定すると、温かい(オレンジ)色調が増えます。





色温度 = -50

色温度 = 50

色合い (設定可能範囲は -100 から 100): イメージの色合いを調整できます。マイナスの値を設定すると、より緑がかった色合いのイメージになり、プラスの値を設定すると、より紫がかったイメージになります。





色合い = -50

色合い = 50

変更を確定するには、[OK]をクリックします。変更を保存せずに終了する場合は、**[キャンセル]**をクリックします。イメージを元の状態に戻す場合は、**[デフォルト]**ボタンをクリックします。

履歴パレット

履歴 パネルは Home Deluxe版ととBusiness版 でのみ利用できます。機能の比較表を確認。

とント: どのライセンスのユーザー(Home/Home Deluxe/Business) でも、元に戻す/やり直し 👍 / 📦 コマンドと 履歴ブラシ ツール 🕟 を 使うことができます。

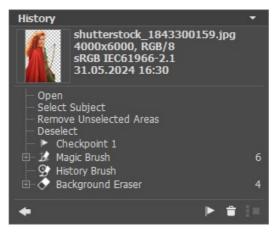


履歴 パレットは、ファイルへの変更すべてがリストとして表示されます。リスト内のアイテムをクリックすると、その状態にまで戻すことができます。

パネルをクリックすると、表示/非表示を切り替えられます。

イメージの サムネイル の右隣には、ファイル名、ファイルサイズ(ピクセル)、カラーモード、プロファイル、作成日時が表示されます。

変更の履歴は直線的に配置されています。つまり、途中の状態に戻って動作を適用した場合、それ以降の動作はコントロールポイント(リストの最上部に位置)以外す べて完全に削除されます。[開く]を選択すると、変更を加える前、プログラムに読み込んだときの状態に戻ります。



変更の履歴

すべての変更は対応するアイコンと共に表示されます。同じツールを用いた2つ以上の変更はグループにまとめられ、ツール名の右の数字はグループ内の変更の数を表し ています。ツール アイコンの左隣に表示されている[+]をクリックしてグループを展開したり、折りたたんだりできます。

履歴 パレットの下部には次のボタンが配置されています。

- ・ 指定位置の状況へ元に戻す/やり直しボタン ← と → ボタンは1段階前へ/後ろへ順 番に移動するのに対し、このボタンは最後の変更後に履歴をレストアできます。 **状態の削除 🕋** または **グループ折りたたみ 📭**のコマンドを使用後に履歴 をレストアする場合に、このボタンを使用できます。
- クポイント1、チェックポイント2 など)。チェックポイントには履歴がなくなりますが、加えられた変更を記憶しています。

チェックポイントの名前を変更する場合、チェックポイント名をダブルクリックし、新しい名前を入力後に Enter を押します。

チェックポイントの保存をすると共に、画像の現状を.akvis 拡張子のファイルに保存できます。

- ★態の削除ボタン = を押すと、選択されたもの以降すべての状態が削除され、チェックポイントがリストの最上部に移動します。チェックポイント選択時にこの ボタンを押した場合、チェックポイントが削除されます。
- グループ折りたたみ ボタン ᠍ は、リストをグループに折りたたみ、1つの状態にまとめ、それぞれの履歴を削除します。このボタンを押した後にグループ内の各 変更を編集することはできません。

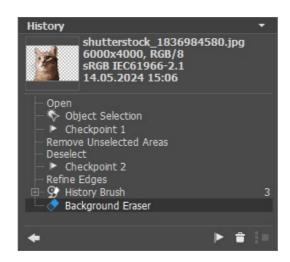
プロジェクトでの作業時の操作方法

AKVIS SmartMask AIでは、作業中のプロジェクトを .akvis 拡張子のファイルに保存することができます。ファイルには、元のイメージ、保存時のイメージの状態、作業中に手動で追加(作成)したチェックポイントが含まれます。 さらに、最後に使用したカラーセットとパラメーターも含まれます。

AKVIS SmartMask AIでプログラムの作業を行う方法:

ステップ1: プログラムのツールを使い、定期的に作業中のプログラムを チェックポイント と共に保存するには、履歴パレットの チェックポイント作成 レンをクリックしてください。

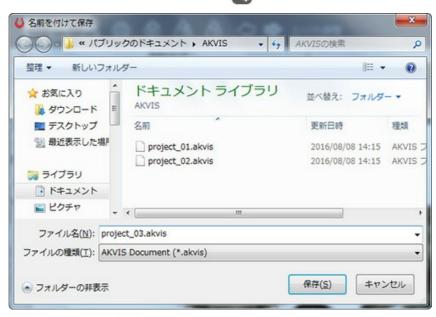
これらのコントロールポイントは、カラーストロークや選択範囲と共にイメージの現状を維持するのに役立ちます。



注意: 履歴 パネルは、Home Deluxe と Business 版ライセンスでのみ有効ですので、Home DeluxeとBusinessライセンス のユーザーの み、チェックポイントを作成できます。

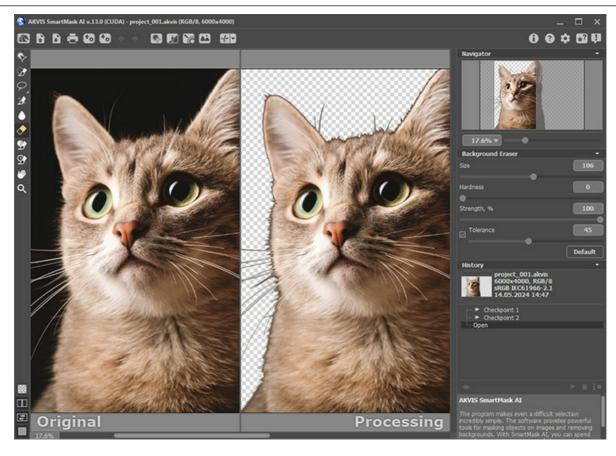
Home ライセンスでもプロジェクトを AKVIS ファイルに保存できますが、保存時のイメージの状態、パラメーター、設置のみが保存され、チェックポイントは保存されません。

ステップ2: プロジェクトを .akvis 拡張子ファイルに保存します。保存するには、【₹️ をクリックし、ファイル名を選択(入力)して [保存]をクリックします。

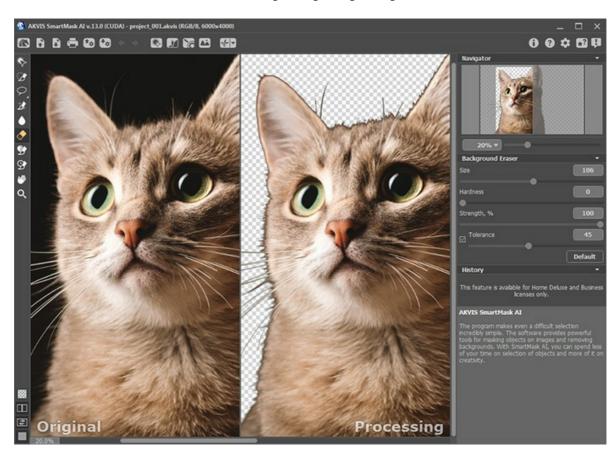


ステップ3: 保存プロジェクト (*.akvis) を開くには、 🚮 をクリックします。スタンドアロン版の場合、 🦍 をクリックして開くこともできます。

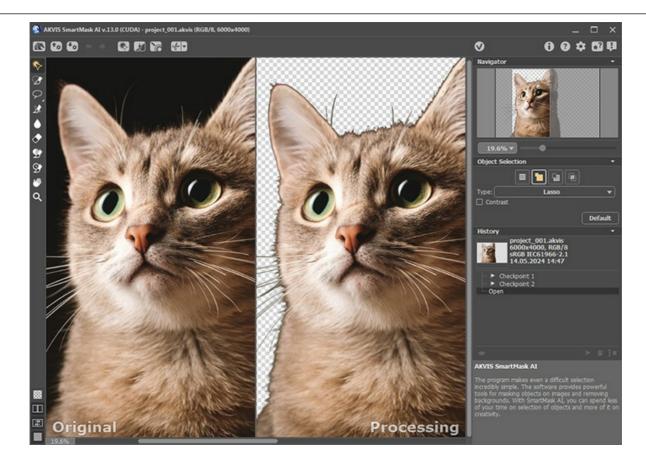
履歴 パレットには、保存されたチェックポイントと処理結果(内容)が表示されます。元のイメージが **[処理前]** タブに、最後に保存された状態が **[処理後]** タブに表示されます。



チェックポイント間の切り替えは、履歴 パレット内のチェックポイントをクリックして行うことができます。該当するイメージが [処理後] タブに表示されます。 Home 版のユーザーは、元のイメージと処理後のイメージをそれぞれ [処理前] タブと [処理後] タブで確認できるのみです。

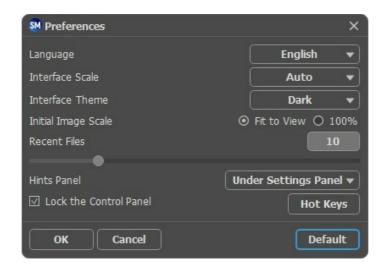


AKVIS SmartMask AI プラグイン版でプログラムの作業を行う場合も、スタンドアロン版と全く同じ方法になります。



プログラムの環境設定

🛖 [環境設定]ダイアログボックスを開きます。[環境設定]ダイアログボックスは次のように構成されています。



- 言語: ドロップダウン メニューから目的の言語を選択して変更します。
- インターフェイスの拡大/縮小:インターフェイス要素のサイズを選択します。 自動に設定されている場合、ワークスペースは、自動的に画面の解像度に合わせ て拡大/縮小されます。
- インタフェース テーマ: インターフェイスのテーマを選択します。明るいー または暗いの2種類のテーマがあります。
- 初期の比率。このパラメータは、開いたイメージをイメージウィンドウに拡大/縮小する方法を設定します。このパラメータは2つの値のいずれかを設定します。
 - [画面に合わせる]: イメージウィントウに全体が表示されるように、拡大/縮小が調整されます。
 - [100%]: イメージは拡大/縮小されません。[100%]に設定すると、ほとんどの場合イメージの一部だけが見える状態で表示されます。
- 最近使ったファイル (スタンドアロン版のみ): 最近使ったファイルの表示数を指定します。最近使ったファイルの一覧は、最も最近使ったファイルが一番上に来る よう順番に表示されます。この一覧は、 🦍 を右クリックすると表示されます。設定可能な最大ファイル数は、30ファイルです。
- ヒントパネル: カーソルをパラメータやボタンに合わせた場合、それらに関する簡単なヒントが表示されます。ヒントの表示方法に関する設定は以下の通りです。
 - 設定パネルの下: 右側の設定パネルの下にヒントが表示されます。
 - ・**イメージウィンドウの下**: メインウィンドウ内のイメージの下に表示します。このモードは、ウィンドウの高さが低く、設定パネルの下にヒントを表示するだ けのスペースがない場合に便利です。
 - 隠す: ヒントの表示する必要がない場合は、このオプションを選択します。
- **コントロールパネルを常に表示**チェックボックス: トップパネルの表示/非表示の切り替えができなくなります。 このチェックボックスをオンにすると、パネルは常に表示
- ホットキー:ボタンをクリックすると、ダイアログボックスが表示され、すべてのツールや操作に対して キーボード ショートカット を設定できます。

[環境設定]ウィンドウでの変更内容を保存するには、[OK]をクリックします。

既定値に戻す場合は[既定値]をクリックします。

ホットキー(キーボード ショートカット)

操作によっては、キーボードの「ホットキー」を使ったほうが簡単で早いという場合があります。

ツールを有効にする場合、該当するアイコンをクリックするか、キーボード上のキーの組み合わせを使うかのいずれかになります。後者の方法のほうが、格段に生産性は上がるでしょう。

AKVIS SmartMask AI では、利用可能なホットキーの一覧の表示に加え、編集することもできます。

ホットキーのカスタマイズ方法:

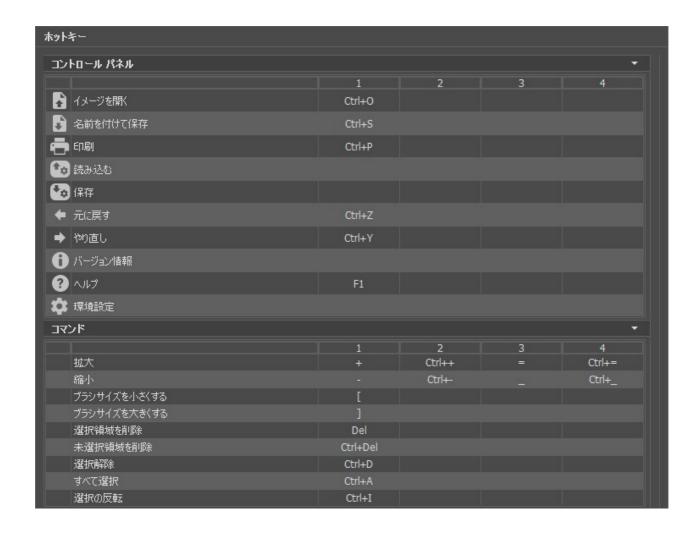
- かをクリックして [環境設定]ダイアログボックスを開きます。
- [ホットキー] ボタンをクリックします。

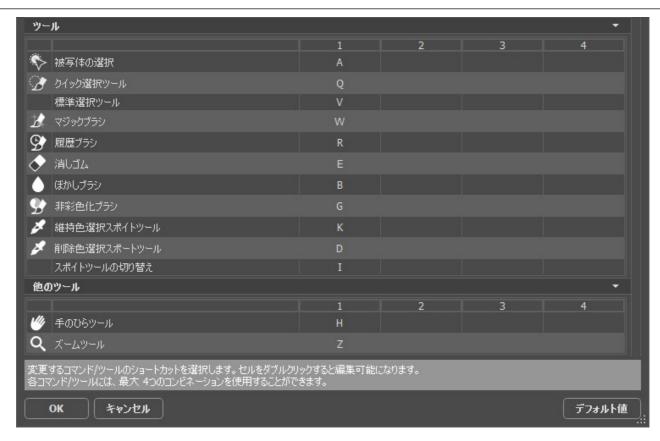


表示される ホットキー ダイアログボックスには、キーボード ショートカットの一覧が表示されます。

変更するコマンド/ツールのショートカットを選択します。セルをダブルクリックすると編集可能になります。
 各コマンド/ツールには、最大4つのキーコンビネーションを使用することができます。

デフォルトのキーボード ショートカット一覧:





変更を保存するには、[OK]をクリックします。

デフォルトのショートカットをレストアするには、**[デフォルト]**をクリックします。

印刷

AKVIS SmartMask AI のスタンドアロン版では、イメージを印刷することもできます。 – を押すと [印刷]オプションが表示されます。



AKVIS SmartMask AI での印刷オプション

設定パネルのパラメーターを調整します。

リストからプリンターを選択し、希望の解像度と部数を指定します。

[印刷の向き]では、紙の方向を設定します。[縦]または[横]から選択します。

[ページ設定]をクリックして表示されるダイアログボックスでは、用紙サイズ、印刷の向き、余白などの設定を行うことができます。

[余白のリセット]をクリックすると、ページのマージンをデフォルトの設定値に戻すことができます。

イメージの印刷サイズを変更するには、**[比率]、[幅]、[高さ]、[ページに合わせる]**等のパラメーターを調整します。これらは印刷にのみ影響するものであり、イメージ自体には影響しません。印刷するイメージのサイズ変更を行うには、[比率]に値を直接入力するか、**[幅]と[高さ]**に値を入力します。

イメージサイズを用紙に合わせる場合は、[ページに合わせる]チェックボックスをオンにします。

ページ上のイメージをマウスで動かしたり、矢印キーを使って揃えたりできます。

[枠]を有効にし、枠の幅や色を指定できます。

色パレットをクリックして、[背景色]を変更できます。

[ページ]タブでは、1枚にイメージを複数印刷するための設定を行うことができます。



- [割り付け]: 1ページに画像を何枚印刷するかを指定します。
- [水平方向] と [垂直方向]: これらの数は、それぞれイメージの行と列の数を意味します。
- [間隔]: イメージ同士の間隔を指定します。

[ポスター]タブでは、大きな画像を複数のページに分け、それぞれの結合部分とともに印刷することができます。



ポスター印刷

- 【ページ】: チェックボックスがオンの場合、イメージを何枚に分けて印刷するかを指定できます。この設定に応じて、イメージの拡大率が調整されます。 チェックボックスがオフの場合、プログラムが実際のサイズに応じて、自動的に最適枚数を選択してくれます。
- [のりしろ]: チェックボックスがオンの場合、ページの結合部分ののりしろの幅を指定できます。のりしろはページの右側と下部に追加されます。
- [切り取り線]: チェックボックスがオンの場合、余白に切り取り線を表示させることができます。
- 【ページ番号の表示】: チェックボックスがオンの場合、行と列の番号が余白部分に表示されます。

指定したパラメーターでイメージを印刷するには、**[印刷]**ボタンをクリックします。 変更をキャンセルし、ダイアログボックスを閉じるには、**[キャンセル]**をクリックします。

[プロパティ...]ボタンをクリックすると、システム ダイアログボックスが表示され、詳細な設定を行ったり、印刷を行ったりできます。

AI ベースの選択ツール

AKVIS SmartMask AI は、特別に訓練されたニューラル ネットワークを使用する2つの革新的な選択機能を提供します: コントロールパネルの[主被写体を選 択]フィルター とツールバーの[被写体の選択] ツール です。

[主被写体を選択] []:コントロールパネルの 「」 ボタンをクリックすると、画像内で最も目立つ被写体(複数の場合もあります)の正確な選択範囲が自働的に 作成されます。



主被写体を選択

[被写体の選択] (▲キー):この ツールを使用すると、特別に訓練されたニューラルネットワークを使用して、画像内のいずれかの被写体を選択することができま す。このツールは、被写体を切り離す必要がある際に役立ちます。

ツールバーの ツールを有効にすると、選択したい被写体の周囲のおおよその選択範囲を作成します。正確な選択範囲は、マウスを離すと作成されます。



被写体の選択

ツールのパラメーター:

選択モード (アイコン表示): 選択範囲をどのように処理するかを指定します。

新規 📺 :新しい選択範囲を生成すると、既存の選択範囲は削除されます。

追加 「(Shift キー):新しいフラグメントを追加することによって、既存の選択範囲に新しい選択範囲が追加されます。

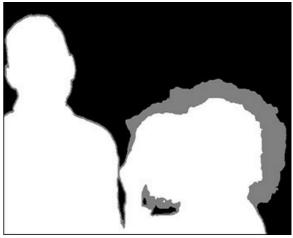
削除 [alt +-):新しい選択範囲が選択領域から除外されます。

共有部分 (Shift + Alt):選択範囲の共有部分のみが残ります。

選択の種類ドロップダウン リストでは、被写体の周囲のおおまかな選択範囲を作成するツールを選択できます。 **長方形選択ツール**または**なげなわツール**です。

[コントラスト]:チェックボックスをオンにすると、より鮮明な選択範囲の境界線が作成されます。





チェックボックスがオン

チェックボックスがオフ

コントロールパネル内で、 をクリックし、選択領域をどうするかに応じて、**[選択領域の削除]、[非選択領域の削除]、[選択領域の反転]、[選択解除]**のいずれかのコマンドを選択します。

マジックブラシ 🗽 や後処理ツールを使用して、選択範囲を編集することができます。

クイック選択ツール

クイック選択 ツール は、近接するピクセルの色を分析して行います。 オブジェクトの選択を行います。このツールで描画した部分の選択は、自動的にエッジや塗り つぶし領域を探して広がります。



元のイメージ

ステップ1: 選択範囲の作成モードを新規、追加、削除の中から選択します。

新規 このモードでは、新しい選択領域が作成されます。既に選択領域がイメージ内にある場合は、その選択を解除します。描画を始めると、自動的に **[追加]**に切り替ります。

追加 二: 既存の選択範囲に新たに付け加えられます。

削除 □ : このモードを有効にすると、不要な選択領域を取り除きます。

ステップ2: ツールのパラメーターを調整します。

サイズ: ブラシの太さ(直径)を指定します。

色の選択は、オブジェクトのエッジ部分や [トレランス]パラメーターの値を考慮して、近似色がすべて選択されます。

トレランス: 値が高いほど、選択範囲に多くの色が含まれることになります。Oに設定されている場合、選択ツールで描いた部分のみに処理が適用されます。



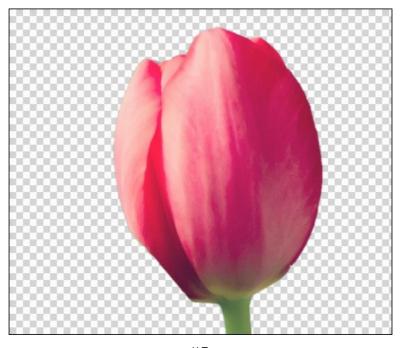
トレランス = 5 **ステップ3:** ブラシで描画することで、新しい選択範囲を指定します。



トレランス = 50



ステップ4: をクリックして、選択領域をどうするかに応じて、 [選択領域の削除]、[非選択領域の削除]、[選択領域の反転]、[選択解除]のいずれかを選択します。 例えば、背景を取り除きたい場合は、2つ目のコマンドを使用します。



結果

マジックブラシ や その他のツール を使って選択エリアを編集することもできます。

標準選択ツール

SmartMask AI の標準選択ツールは、幾何学図形やフリーハンドの図形を使用した選択ができます。選択領域は、点線で示されます。選択領域をイメージ内で移動させるには、カーソル 📭 が選択領域内にある状態でドラッグします。



選択ツール

選択ツール:

長方形選択ツール は、長方形や四角形の領域を選択する際に使用します。マウスの左ボタンを押しながら、ドラッグして選択を行います。

楕円形選択ツール は、楕円形や円形の領域を選択する際に使用します。

投げなわツール は、フリーハンドで領域を選択できます。選択するオブジェクトの周りにラインを描画(ドラッグ) します。マウスから指を離すと輪郭が閉じ、 最終地点が開始地点とつながります。

多角形選択ツール は、フリーハンドで領域を選択することはできますが、輪郭は直線で構成されます。各頂点でクリックすると、プログラムが自動的に2つの頂点を結んで直線を描画してくれます。輪郭を閉じるには、開始点で再度クリックするか、最終点でダブルクリックします。

Shift キーを押すと、四角や円、また垂直/水平な線を描画することができます。

ツールのオプションは、設定パネルとイメージ上を右クリックして表示されるボックスに表示されます。

選択モードにより、選択した範囲をどうするか(結果)が異なります。

新規 📺: 新しい選択範囲を生成すると、既存の選択範囲は削除されます。

追加 🔚: 既存の選択範囲に新たに付け加えられます。

削除 ┊ : 指定範囲を既存の選択範囲から取り除きます。

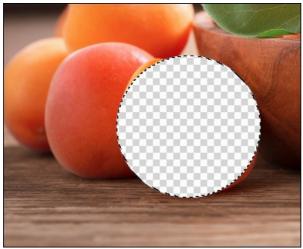
共有部分 : 指定した範囲と既存の選択範囲が重なる部分のみが選択範囲として適用されます。

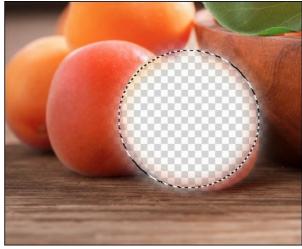




境界をぼかす (設定可能値が 0から100):選択範囲の境界部分をぼかします。

削除

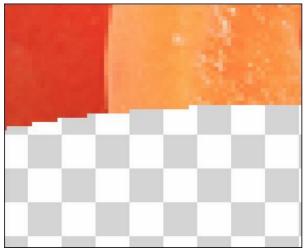


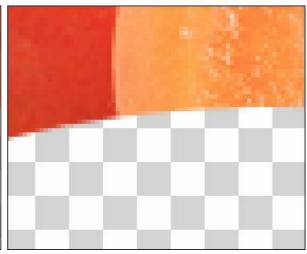


境界をぼかす = 0

境界をぼかす = 10

アンチェイリアス: チェックボックスを有効にすると、選択枠のエッジ部分のギザギザを滑らかにします。選択領域を *作成する前に* このオプションを有効にしてください。





アンチエイリアスが無効

アンチエイリアスが有効

[中央から] チェックボックス:カーソルのある位置が中央になるように選択領域を作成できます。オプションが無効の場合、カーソルのある位置が角になるよう選択領域を作成します。

技法:選択領域のサイズの設定を行えます。

標準:カーソルのドラッグによって選択領域を指定します。

固定サイズ:ピクセルで高さと幅を指定し、指定された大きさの選択領域が作成されます。

固定比率:選択領域の高さと幅の比率が 固定されます。

をクリックして、選択領域をどうするかに応じて、

[選択領域の削除]、[非選択領域の削除]、[選択領域の反転]、[選択解除]のいずれかを選択します。

マジックブラシ や その他のツール を使って選択エリアを編集することもできます。

マジックブラシ

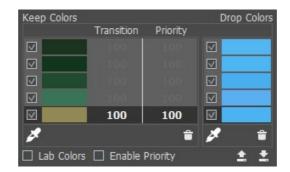
マジックブラシツール は、複雑なオブジェクトの選択や自動選択ツールでの選択の修正に便利といえます。このツールは、色セットをもとに作業し、ある色は維持し、ある色は削除します。

マジックブラシは、維持色フィールドに含まれる色のポイントを維持し、削除色フィールドに含まれる色のポイントを削除します。その他の色は、近い色または近い色セットに基づいて維持、または削除されます。

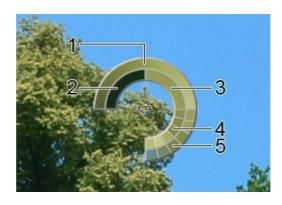


元のイメージ

ステップ 1: 色の選択: **維持色と削除色**を、**設定パネル**内にあるそれぞれのスポイトツール を使って選択します。それぞれのリストに最大5色まで選択できます。



スポイト アイコンをクリックすると**維持色選択スポイトツール**または**削除色選択スポイトツール**が有効になりますので、画像内の色をクリックして選択します。 スポイト ツールを有効にしてイメージ内をクリックすると、その部分の色に関する情報を 5つに分割された **色リング** が表示されます。



- 1. 中心が選択した部分の色を示すグラデーションは、左側が30% 黒を加えた色、右側が30% 白を加えた色です。
- 2. 今現在選択している色を示しています。

- 3. カーソルがある地点の色のピクセルを示しています。
- 4. 周囲のピクセルの色を示しています。
- 5. 選択地点の周囲を平均した色 (時計回りに3x3、5x5、11x11、31x31、51x51、101x101ピクセル四方) を示しています。
 このツールにより、より厳密に色を選択できるようになります。希望の色が見つからない場合、**色リング**内にある隣接する色をCtrl キーを使用します。
 維持/削除リスト内のチェックマークのついた色は、結果を割り出す際に考慮される色を指します。色を除外するには、チェックをはずす必要があります。

[色を維持] フィールドでは、それぞれの色に対して以下の設定を行うことができます。

遷移 (設定可能範囲は 10-100): 指定した色と、取り除く背景の間の境界部分の遷移の滑らかさを指定します。パラメーターの値が低いほど、遷移の滑らかさは失われます。

優先度 (設定可能範囲は 10-100): 優先度の高い色は、ブラシを使って画像を処理した後も残ります。 優先度が低いほど、色が削除されてしまう可能性が高くなります。

[優先度を有効にする] チェックボックスをオンにすると、[遷移] で指定した値や[優先度]パラメーターが処理に適用されます。





チェックボックスがオフ

チェックボックスがオン

[Lab カラー] チェックボックス: チェックボックスをオンにすると、Lab カラー空間を使用するので、処理結果の制度を改善できます。チェックボックスがオフの場合は、RGB カラー空間が使用されます。

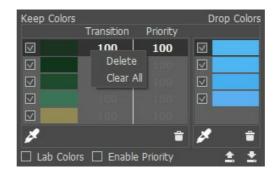






チェックボックスがオン

一覧から色を削除するには、目的の色を左クリックで選択して を押します。一度に複数の色を選択するには、Ctrl キーを使用します。リストを右クリックして表示されるリストのオプションから、一覧のクリアを行うことができます。

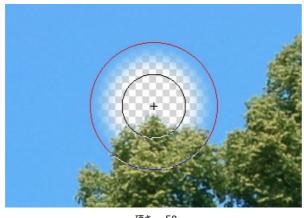


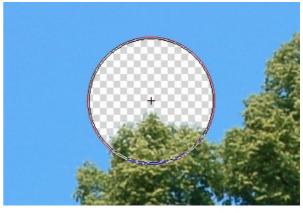
色のリストの保存は 💽 をクリック、読み込みは 套 をクリックします。

ステップ 2: ブラシの直径 (サイズ) と硬さを指定します。

サイズは、ツールの直径をピクセルで指定します。

硬さは、ツールのエッジ部分のぼかし具合を指定します。値が低いほど、ツールのエッジ部分はぼかしがかかったものになります。





硬さ = 50

硬さ = 100

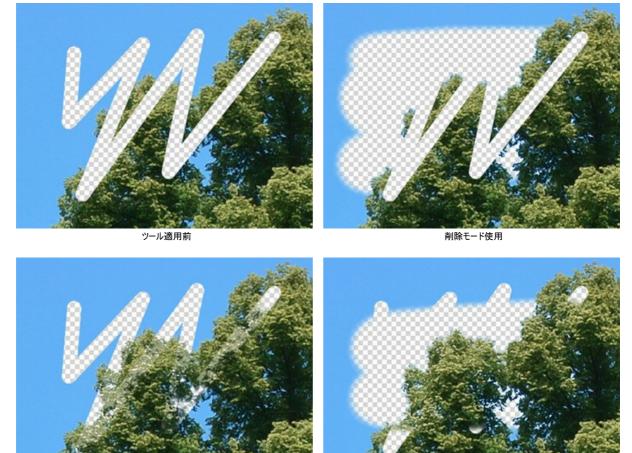
ステップ 3: ツールの操作モードを指定します。

削除 ____: このモードのマジックブラシは、削除色フィールドに含まれる色と同じ色のポイントのみを削除します。

維持 🔔 : このモードの**マジックブラシ**は、**維持色**フィールドに含まれる色と同じ色のポイントのみを削除します。

維持&削除 : このチェックボックスをオンにすると、マ**ジックブラシ**は、**削除色**フィールドに含まれる色と同じ色や近い色を持つポイントを削除し、

維持色フィールドに含まれる色と同じ色や近い色を持つポイントを復元します。



維持モード使用

維持&削除モード使用

ステップ 4: ブラシ感度 グループに含まれている以下のパラメーターを調整することもできます。

色を維持: パラメーターの値が大きいほど、イメージ上で 維持 される色の範囲がより広くなります。

色を除外: パラメーターの値が大きいほど、 削除 される色の範囲がより広くなります。

ブラシ感度全般:このパラメーターの値は、さまざまな領域で復元されるディテールの量に影響します。パラメーターの値が大きいほど、ディテール (細部)までがより半透明に表示されます。

注意: [優先度を有効にする]チェックボックスがオンの場合、 [色を削除]パラメーターの値は無視されます。 [遷移]パラメーターの値が、 [色を維持] パラメーターの値 + 10 よりも小さい場合、 [遷移]パラメーターの値が無視され、 [色を維持]パラメーターの値 + 10 が使用されます。

ステップ 5: オブジェクトの色合いを変更する必要がある場合は、[前景リカバリー] チェックボックスを有効にします。

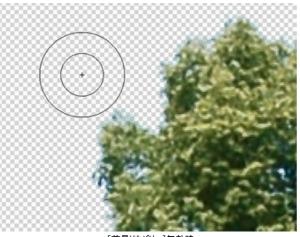
大抵の場合、オブジェクトには均等に光が当たっているわけではないので、切り取りオブジェクトには隣接するオブジェクトの反射による影や色が生じます。例えば、

空の青みや木々の緑が髪の部分に残っていたり、他のオブジェクトの影が衣類に残るような色合いは、非常に不自然に映るでしょう。

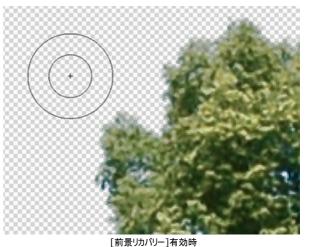
[前景リカバリー] チェックボックスをオンにすることで 不要な色合いを取り除くことができます。カラーパレットをクリックして色を選択します。クリックすると、スポイトツールがアクティブになり、画像内から色を選択することができるようになります。ダブルクリックすると、**[色の選択]**ダイアログが表示されます。パレットを右クリックして **透過度** を設定すると、**維持色** リスト内の色が使用されます。

[強度] パラメーターは、適用する色の影響を定義します。パラメーターの値が大きいほど、より多くの色が変更されます。

マジックブラシを修正したい部分の処理に使用すると、指定した色合いに変更されます。

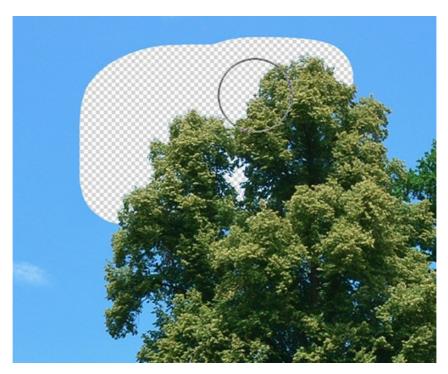


[前景リカバリー]無効時



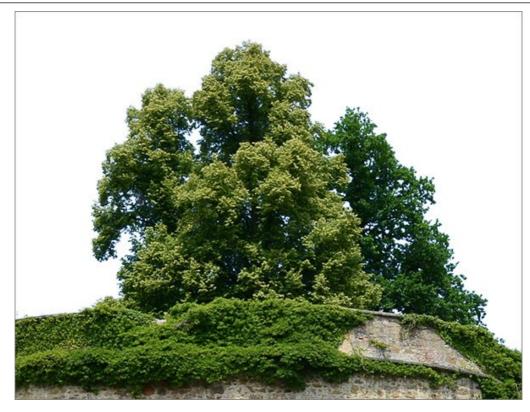
[削景リカハリー]有対応 緑を指定

ステップ 6: マジックブラシ ツールを使って、必要なフラグメントの処理を行います。



マジックブラシの使用

色セットやパラメーターをすべて調整したら、処理を実行したい部分すべてをブラシで描画します。



白い背景での結果

結果の処理には、後処理ツールを使用することもできます。

クロマキー

クロマキーは、映画やテレビ番組の撮影/製作時に使用される技術で、幾つかの画像やフレームを1つに合成するときに使用されます。撮影時は、前面に表示されるオブジェクトを、単色 (緑か青) の背景幕の前で撮影します。その後の処理で、背景の色が取り除かれ、別の映像等に置き換えられます。

AKVIS SmartMask AI のクロマキーモード ア では、単色の背景を簡単かつ正確に削除できます。

注意:この機能は Home Deluxe および Business ライセンスでのみ利用可能です。



背景の除去

注意: クロマキーは、元の画像に適用する必要があるので、このモードは、最初の処理段階で使用します。使用するタイミングを間違えると、変更がすべて失われます。

画像の背景を削除する場合は、以下のパラメーターを調整します。

色: 3つのカラー パレットを使用して、削除する色を設定します。パレットをクリックすると、スポイト ツールがアクティブになるので、画像内から色を抽出します。パレットをダブルクリックすると、色選択ダイアログが表示されます。パレットを右クリックすると色が削除されます。

背景画像の背景の種類を選択します。選択したオプションに応じ、異なるピクセル除去メソッドが使用されます。選択できるオプションは次の3つです。

均一: 背景ピクセルは、色レベルと輝度レベルの差異を元に除去されます。このオプションは、青または緑のスクリーン等単色の背景を取り除く際に使用するとよいでしょう。このメソッドは、他のメソッドより多くのディテールを維持することができます。

不均一:背景ピクセルは、色レベルの差異だけを元に除去されます。このオプションは、様々な色を含む背景の場合に使用するとよいでしょう。

グラデーション: グラデーションの背景を削除する際に使用します。



均一な背景



不均一な背景



グラデーションの背景

色を削除/色を維持(設定可能範囲は 0-100): 削除する色の範囲を指定します。

[色を削除]の値が高いほど、 指定した色が画像内からより多く取り除かれます。[色を維持]の値が高いほど、指定した色が画像内により多く残ります。色範囲内のピクセルを持つ色は半透明になります。





除去する色 = 5、維持する色 = 20

除去する色 = 25、維持する色 = 50 エッジのリカバリー (設定可能範囲は 0-100): フラグメントのエッジ部分に含まれる半透明ピクセルの色を、隣り合う不透明なピクセルを置き換えます。





エッジのリカバリー = 10

エッジのリカバリー = 100

非彩色化 (設定可能範囲は 0-100): 抽出したオブジェクトのエッジに含まれる半透明ピクセルの色の彩度を下げます。





非彩色化 = 0

非彩色化 = 100

ぼかし (設定可能範囲は 0-100): フラグメントのエッジ (境界) 部分をどの程度ばかすかを指定します。





ぼかし = 1

ぼかし = 5

[表示モード]ドロップダウン メニューでは、切り取りオブジェクトをイメージ ウィンドウで表示する際のオプションを選択できます。

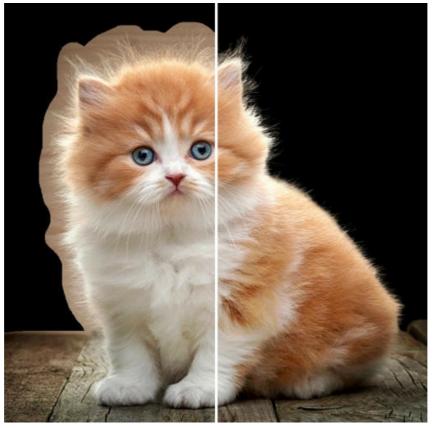
変更を適用する場合は、[OK]ボタンをクリックします。変更を保存せずに終了する場合は、[キャンセル]ボタンをクリックします。デフォルトの設定をレストアするには、 [デフォルト]をクリックします。

処理結果のエッジを修正(編集)するには、エッジの微調整モードを使用します。背景を変更するには、スタム背景モードを使用します。

エッジの微調整



エッジの微調整機能 🌇 は Deluxe 版と Business 版でのみ利用可能ですが、選択範囲のエッジや切り取りオブジェクトを簡単に編集するのに便利です。



エッジの微調整

設定パネルにあるツールやパラメーターを使用して、選択領域のエッジ部分を調整します。

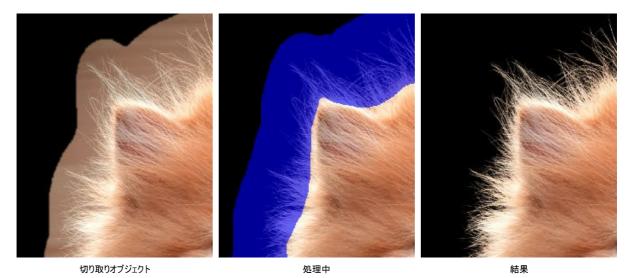
変更を加える領域の種類を指定します。 選択範囲で選択範囲の枠を変更するか、[切り取り]を選択して、抽出したオブジェクトのエッジを調整します。

プレビュー ポップアップ メニューでは、編集の際、選択範囲や切り取りオブジェクトがどのようにイメージ ウィンドウに表示されるかを指定します。

サイズの微調整ツール 🅍 を使うと、適用領域をより正確に指定し、境界部分の様々な部分のサイズをそれぞれ変更することができます。選択範囲の編集は、消し

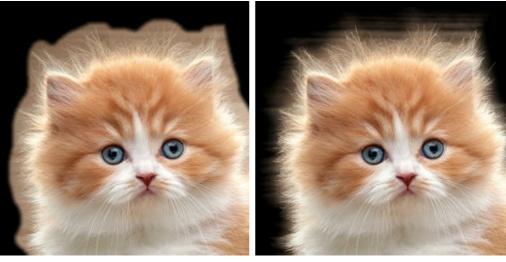
サイズ (設定可能範囲は1-1000): ブラシで引くラインの幅をピクセルで指定します。

[選択範囲の表示]チェックボックス:つまり、このチェックボックスがオンの場合、選択範囲は常に表示されます。チェックボックスがオフの場合、編集の時にのみ表 示され、それ以外は非表示になります。



以下のパラメーターを使用して、エッジの調整を行います。

半径 (設定可能範囲は 0-250): 選択範囲や切り取り部分の周囲の幅を指定します (エッジの微調整が適用される部分)。



直径 = 50 直径 = 200 しきい値 (設定可能範囲は -10 から 80): パラメーターの値を上げることで、削除するピクセルの色範囲や明るさを指定します。



しきい値 = 0 **遷移** (設定可能範囲は 10-100): 指定した領域内の遷移をより滑らかにします。

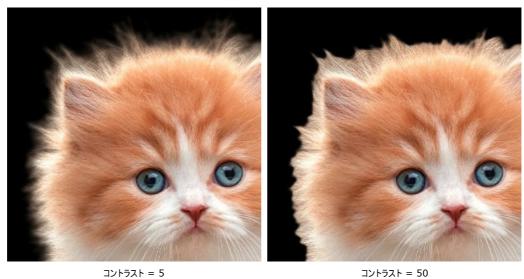


注意: [しきい値] / [遷移]パラメーターがイメージに適用されるのは、[半径]パラメーターの値が0ではない場合、または[サイズの微調整]ツール画使用された場合さだけです。

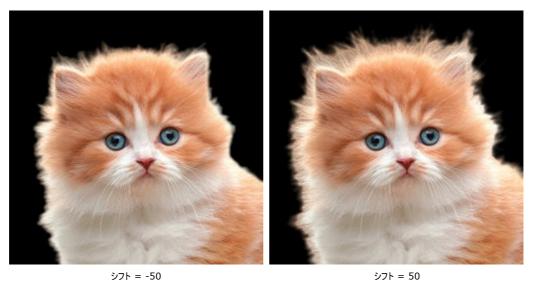
[半径]パラメーターと**[サイズの微調整]**ツールは似ていますが、最大の違いは、パラメーターの場合、エッジ全体で同じ幅に設定するのに対し、ツールでは、エッジの異なる部分で異なるサイズを設定できるという点です。

${f NR}$ (設定可能値が 0-100):選択範囲/オブジェクトと背景の遷移をぼかし、半透明の領域を作り出します。





シフト (設定可能値が -100 から 100): 半透明ピクセルの透過度を変えることにより、トランジッション領域の選択範囲やオブジェクトを拡大または縮小します。



非彩色化 (設定可能値は 0-100): **切り取り**を選択した場合にのみ有効です。抽出オブジェクトの エッジ部分にある半透明ピクセルの色の彩度を下げるパラメーターです。



非彩色化 = 0

非彩色化 = 50

パラメーターを設定後の結果:



結果

変更を適用するには[OK]をクリックし、オプションを閉じて終了するには[キャンセル]をクリックします。

[リセット]ボタンをクリックすると、このモードで行ったすべての変更が破棄され、パラメーターがデフォルトの設定にリセットされます。

後処理用ツール

処理結果の微調整を行い、最後の仕上げを行うためのツールは以下の通りです。 **ぽかしブラシ** (背景) (非景) (非景) (非彩色化ブラシ) (履歴ブラシ



これらのツールは、手動 モード有効時に ツールバー に表示されます。

ぼかしブラシ ▲: このツールは、隣接するピクセル間のカラーコントラストを下げることで、ぼかし効果を作成します。

ブラシは、[強度]パラメーターを使って調整できます。パラメーターの値が大きいほど、効果は強くなります。





ぼかしツール使用前

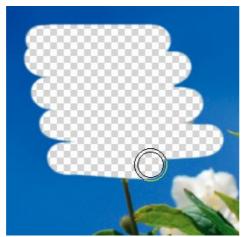
ぼかしツール使用後

消しゴム(背景) このツールは適用した領域を消去します。

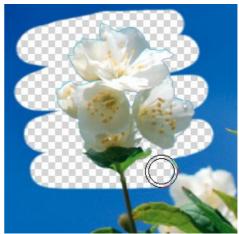
強度 (設定可能値が 1-100): ツールを適用する強度を指定します。値が高いほど、消しゴムツールの影響が大きくなり、背景が見えにくくなります。 **[トレランス]** チェックボックスは、取り除く色の範囲をコントロールします。デフォルトの設定では無効となっていますので、ツールはすべての色を取り除きま

有効になっている場合、クリック時、ブラシの中央の色がサンプルとして採取します。このツールを使って画像上を描画すると、指定した色は取り除かれま

[トレランス] パラメーターの値が低いほど、取り除く色は少なくなります。値が高いと、より多くの色が取り除かれます。



背景消しゴム使用 トレランス機能オフ



背景消しゴム使用 トレランス機能オン

非彩色化プラシ : 処理を行う画像領域の彩度を下げるためのツールです。

強度 (設定可能範囲は 1-100): 非彩色化ツールの強度を指定します。値が高いほどピクセルの彩度が弱くなります。



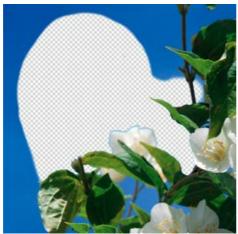


非彩色化ブラシ使用前

非彩色化ブラシ使用後

履歴ブラシ ◯→: このツールは領域を元の状態に戻します。

強度 (設定可能値が 1-100):オリジナルの状態へのレストアの度合いを指定します。低い値の場合は適用した効果とのブレンドが残りましが、100% に近い値の場合はオリジナルの状態に完全にレストアされます。







履歴ブラシ使用後

このツールに関して以下のパラメーターを設定できます。

サイズ:ブラシ幅の直径をピクセルで指定します。

硬さ:ブラシのエッジ(境界部分)によるぼかしの程度を指定します。値が高いほどブラシのエッジが硬くなり、ぼかしも弱くなります。低い値では、境界部 分の遷移がよりスムーズに、つまりやわらかい、ぼかしがかかります。

その他のツール

その他のツールを使用することで、より一層作業がシンプルになります。

これらのツールは、自動、手動の両モードで利用できます。

手のひら ツール ば、画像を拡大して作業している場合にその表示領域をスクロールする際に使います。表示領域をスクロールするには、このボタンをクリック後に、画像上をマウスでクリックしたまま移動します。

イメージウィンドウで画像をスクロールするには、キーボードのスペースバーを押しながら画像をドラッグすることもできます。

ツールバー 上にあるツールのアイコン **を**ダブルクリックすると、イメージは、**イメージウィンドウ**に合わせたサイズで表示されます。



手のひらツールを使って、表示範囲のスクロール

ズームツール Q は、イメージの表示サイズを変更するために準備されています。

クリックすると、ズームイン(拡大)します。クリックしながら Alt キーも押すと、ズームアウトします。画像の拡大/縮小は、ホットキーを使っても行えます。

特定の領域を拡大することもできます。その場合、 ボタンをクリックして、画像上の拡大する領域を長方形で指定します。対象の領域を指定したら、その領域がウィンドウ全体に収まるように拡大されます。

ツールバー 上にあるツールのアイコン 🔾 をダブルクリックすると、イメージが100%の倍率(実際の大きさ)で表示されます。



ズームツールを使って、選択範囲の拡大

写真の背景を置き換える方法

ニューラルネットワークベースの選択ツールは、ワンクリックで画像内のオブジェクトを素早く正確に選択できます。

この例では、AKVIS SmartMask AI を使用して、写真の背景を置き換える方法を紹介します。



背景の置き換え

ステップ 1: AKVIS SmartMask AI プログラムで写真を開きます。



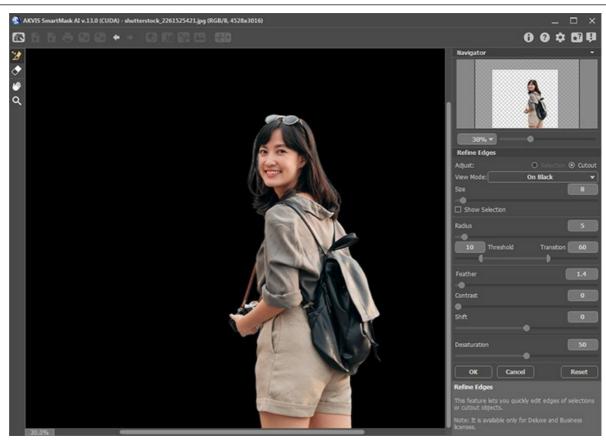
ステップ 2: ピントが合っているのは1人だけなので、[主被写体を選択] 機能を使用します。上部パネルの をクリックすると、選択範囲が自働的に作成されます。



ステップ 3: 上部パネルで、 を押してコマンド メニューを呼び出します。背景を除去するには、 [非選択領域の削除] (Ctrl + Del) を使用し、選択範囲をリセットするには、 [選択解除] (Ctrl + D)を使用します。



ステップ 4: もし必要であれば、[エッジの微調整]機能を使用して、切り抜いた被写体のエッジを調整することができます。



ステップ 5: 新しい背景を追加するには、上部パネルの をクリックして、[カスタム背景] モードに切り替えます。ここでは、背景として使用する画像を選択することができます。



ステップ 6:背景と被写体の相対的な位置を調整し、必要に応じて背景画像の階調補正と色調補正を行います。



写真の背景を変えるだけで、旅の思い出が作れます!







AKVISプログラム

AKVIS AirBrush - エアブラシを使ったぼかし処理を手軽に適用

AKVIS AirBrush は、写真をスプレー塗料またはインキをスプレーする特殊なエアブラシツールで作られたように見える芸術作品に自動的に変換します。ソフトウェアは、選択した写真から絵画への変換設定を使用して、画像からスタイリッシュでカラフルなエアブラシデザインを作成する芸術的なフィルタとして動作します。 詳細情報



AKVIS Artifact Remover AI — JPEG-圧縮画像のレストア

AKVIS Artifact Remover AIは、AIアルゴリズムを使用して、JPEG 圧縮アーテファクトを取り除き、圧縮した画像本来の品質へと補整します。このプログラムは4つの画像修復モードを提供し、それぞれ今回特別に開発された独自のニューラルネットワークを使用します。このソフトウェアは、ホームユーザーは無料で利用できます。商用利用には、ビジネスライセンスを提供しています。詳細情報



AKVIS ArtSuite — 写真をオリジナルで華やかに飾ります!

AKVIS ArtSuite は、写真を飾るための印象的かつ多用途な効果を集めたものです。写真をオリジナルで華やかに飾ります! 友人へ送るポストカードの作成、旅の思い出アルバムの作成、デスクトップ用の壁紙、または、アート感覚で楽しむためなど、さまざまな場合で必要になるでしょう。 ArtSuiteは、いくつかの基本的な効果が用意されており、効果を適用したバージョンを無限に作成できます。 詳細情報



AKVIS ArtWork - 多彩なペイント/描画技法

AKVIS ArtWork は、様々な芸術技術を写真に与えるための画像変換ソフトウェアです。油絵、水彩、グワッシュ、コミック、ペン&インク、リノカット、ステンシル、バステル、点描画法です。Artwork を使うと、デジタル写真が芸術作品に早変わり! 詳細情報



AKVIS Chameleon — フォトコラージュ作成

AKVIS Chameleon は、挿入した被写体の自動調整、対象のイメージカラー範囲の調整、被写体の境界の円滑化などができる効果的なツールです。 このツールはいくつかの目的に役立ちます: 写真に新しい被写体を挿入したいけれど、従来のツールよりもフレキシブルで簡単なものがほしい(コラージュ作成), いらない不具合を、イメージの近くのパーツと置き換えて隠したい(クローンツールと類似)。 詳細情報







AKVIS Charcoal 一簡単なステップで写真が木炭画になります!

AKVIS Charcoal は、写真を木炭やチョークを使用して描いた絵のように変換することのできる芸術的なツールです。黒と白の著しい違いを使用した材料の統合もできます。 色やオプションを使用することによって、素晴らしい芸術的な効果を作り上げることができます。 詳細情報





AKVIS Coloriage AI — 白黒写真を色付け

AKVIS Coloriage AI では白黒写真の色付けができます。このプログラムは、機械学習に基づくAIによる画像カラー化モードと、ゾーン選択を使用した手動カラー化の古典的な方法を搭載しています。 古い家族写真に新しい命を吹き込みましょう! 詳細情報



AKVIS Decorator - 被写体の模様や色を変更

AKVIS Decorator は、被写体表面の色や模様を違和感なく変更することができるソフトウェアです。 このソフトウェアを使用すると、女性のドレス、車体、家具など、写真の一部を選択して、新しい色や模様を適用することが可能です。 詳細情報





AKVIS Draw - 手書きの鉛筆画への変換

AKVIS Draw は、デジタル画像から、手書きの鉛筆画やラインアートを作成します! ソフトウェアは非常に使いやすく、ワンクリックで自然な鉛筆画を作成します。 詳細情報





AKVIS Enhancer — 詳細を引き立てるツール

AKVIS Enhancer は、不鮮明になってしまった原因に関わらず、ディテールを高めることができるイメージ補正ソフトウェアです。 本プログラムは、露出が均一ではない写真から露出不足、露出過度、中間調の各領域のディテールを検出します。 詳細情報





AKVIS Explosion - 素晴らしい粒子の爆発効果

AKVIS Explosion は、写真に爆発効果を追加し、砂などの粒子を適用します。このソフトウェアを使用することで、人目をひくグラフィックを数分で作成できます! 詳細情報





AKVIS Frames — あなたの写真をフレームで飾りましょう

AKVIS Frames は、AKVISフレームパックと共に機能する無料写真校正ソフトウェアです。

このプログラムを使えば、専用の写真フレームであなたの写真を簡単にデコレートすることができます! 詳細情報





AKVIS HDRFactory - 実際よりも明るい画像に!

AKVIS HDRFactory では、単一イメージまたは同様のイメージを複数枚を使用して、HDRイメージを作成できます。このプログラムは画像修正を行うために使用することもできます。 AKVIS HDRFactoryで写真に息吹、そしてより鮮やかな色合いを! 詳細情報



AKVIS Inspire AI - イメージの芸術的スタイル化

AKVIS Inspire AI は、様々な絵画のサンプルを使用してイメージをスタイル化します。AIに基づくプログラムが、選択した芸術作品のカラースキームとスタイルを写真に適用し、新しい芸術作品を作り出します。このソフトウェアは、芸術スタイルのギャラリーを備えており、カスタム サンプルを読み込むことができます。世界中の有名なアーティストのスタイルを模倣しましょう! 詳細情報







AKVIS LightShop - 光と星の効果

AKVIS LightShop を使って、無限の光のイメージ効果を作成してみましょう。 荒れ模様の空にある光、町を横切るカラフルな虹、雫に映る反射、暖炉の燻っている木の炎、夜空の中で輝く未知のサイン、太陽の揺らめく炎、遠方の惑星の光、花火 - 貴方の想像の限りに! 詳細情報





AKVIS Magnifier AI — きれいに画像解像度を上げることができます!

AKVIS Magnifier AI を使えば、効率的に画像解像度を上げることができます。 Magnifier AI は、先進の拡大アルゴリズムを用い、ポスターサイズ印刷にまで対応できるよう、デジタル画像を驚くほど美しく超高解像度に拡大します。 Magnifier AI で写真の解像度と品質を向上させましょう! 詳細情報





AKVIS MakeUp — 理想の肖像画を作成しましょう!

AKVIS MakeUp を使うと、写真に魅力が加わり、プロのような仕上がりが期待できます。

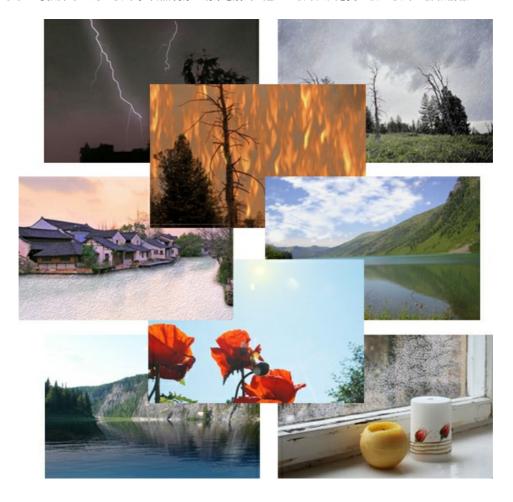
肌に見られるシミなどのレタッチを行い、輝きがあり、美しく、滑らかで、澄んだ肌を作り出します。詳細情報





AKVIS NatureArt - リアルな自然現象がデジタルアートで再現できる!

AKVIS NatureArt は、壮大な自然現象をデジタル写真に再現するための素晴らしいツールです。自然の効果は、私たちが受ける印象に与える影響が大きく、写真からくる印象を強調するために使用することもできます。自然現象の効果を劇的に追加したり、天気を変えたりできます!詳細情報



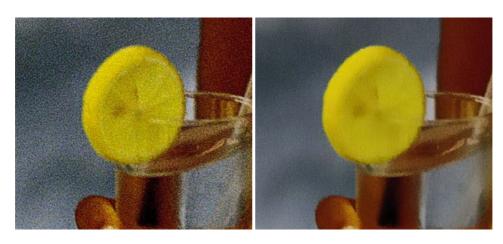
AKVIS Neon — グローエフェクト

AKVIS Neon は、ネオンのような発光インクを使用して描いたように見える写真に変換します。このツールを使用すると、驚くような輝くラインエフェクトを作成できます。まるで光を使って描く画家になったような気分が味わえます! 詳細情報



AKVIS Noise Buster AI — デジタルノイズリダクション

AKVIS Noise Buster AI を使用すると、写真の印象を損なうことなく、デジタル写真上の輝度ノイズとカラー ノイズの両方を低減することができ、プロの写真家が撮影したような仕上がりが得られます。詳細情報



AKVIS OilPaint — 油絵効果

AKVIS OilPaint は、写真を油絵に変換するソフトウェアです。プログラムの特長は、ブラシ ストロークの芸術的な適用を行うユニークなアルゴリズムにより、可能な限り本物のブラシで描いたように見えるよう変換されるという点です。 詳細情報



AKVIS Pastel — 写真をパステル画に変換

AKVIS Pastel は写真をパステル画調に変換します。 このプログラムは、芸術的テクニックの一つでもあるパステルアートをデジタル画像で作りだそうというものです。 詳細情報

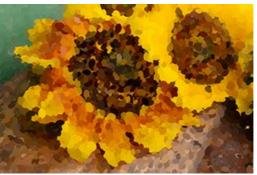




AKVIS Points - 写真に点描画法の効果を適用!

プログラムを使用することで、イメージを点描画法を使用した芸術作品に変換できます。写真であっても、点描画法を使用した素晴らしい絵画になります!詳細情報





AKVIS Refocus AI — ピンポケの修正とぼかし効果

AKVIS Refocus AI は、ピンぼけしたイメージを鮮明にします。イメージ全体の処理を行うことはもちろん、背景に対して手前の被写体などが目立つように指定部分のみピントの調整を行うこともできます。 本ソフトウェアには、[リフォーカス AI]、[逆ティルト効果]、[アイリスぼかし]、[移動ぼかし]、[放射状ぼかし]の5つのモードがあります。 詳細情報





AKVIS Retoucher — 画像修復ソフトウェア

AKVIS Retoucher は、傷やチリを効果的に除去できるソフトウェアです。 Retoucherでは、チリ、傷、破片、しみ、水腐れ、その他損傷を受けた写真に見受けられる不具合を除去することができます。 Retoucherは、生産性を向上し、表面の不具合による作業を減らすことができるのです。 詳細情報





AKVIS Sketch - 写真を鉛筆画に変換

AKVIS Sketch は、写真を素晴らしい鉛筆画へと自動的に変換するためのソフトウェアです。本物のようなカラーの鉛筆画、白黒のスケッチ画を作り出し、黒鉛、色鉛筆の技法を真似た効果を写真に与えることもできます。 写真からスケッチ画に変換するための技法として、**クラシック、アーティスティック、マエストロ、マルチスタイル**の 4種類と、それぞれプリセットが用意されています。 AKVIS Sketch を使うと、プロの芸術家になったような気分を味わえるでしょう! 詳細情報







AKVIS SmartMask AI - 選択作業を簡単に

AKVIS SmartMask AI は、作業時間を節約でき、楽しく使える効果的な選択ツールです。人工知能ツールを搭載したこのプログラムは、画像内の被写体をマスキングする最も便利で高速な方法です。このソフトウェアのおかげで、生産性を大幅に伸ばすことができます。単調な作業から開放され、アイディアの考案やアイディアを実際に作品に取り入れるための時間が十分に取れます。詳細情報





AKVIS Watercolor — 水彩画

AKVIS Watercolor は、本物さながらの素晴らしい水彩画を生成できます。Watercolorには、写真変換技法が二種類用意されています。水彩 (クラシック)または水彩 (輪郭)を選択できます。写真が本物の絵画のようになります! 詳細情報



